

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 2月 5日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスろ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			整理整頓に心がけています。
	2 職員の配置数は適切である	7			毎日定められた人数以上のスタッフを確保しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7			玄関先からスロープになっておりバリアフリー化しています。洗面台は踏み台を活用しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			整理整頓・掃除・玩具の消毒を徹底しています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			毎日のミーティング時に意見交換を実施しています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		保護者にもアンケートを実施しご意見に対する改善を行っております。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している			7	ホームページ等で公開予定です。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			7	外部評価を受けておりませんが、必要時業務改善を行っております。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			研修会への参加及び伝達講習を行っています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			アセスメント用紙に保護者から情報提供を頂き子どものニーズに沿った支援計画を立案しております。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			個別支援計画書作成時にスタッフ間で情報の共有を行っています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			ガイドラインを基に保護者と協力し子どもに応じた支援内容に取り組んでいます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			個別支援に沿った支援の提供を行っています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7			児童発達支援管理責任者を中心にスタッフ全員で話し合いをして決定しています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			日々のプログラムと、イベントを組み合わせるなどの工夫をしています。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7			子ども個々に合わせ、支援計画を個別・集団活動を組み合わせた支援を行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	3		出来る限り当日打ち合わせを実施していますが、シフトによっては臨機応変に対応しております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		保護者からの情報など、終了時に話し合いを行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			子どもの様子を日々管理日誌及び、連絡帳に記載し、個別支援計画の見直しをしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			定期的にモニタリングを行い必要時、個別支援計画書の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			児童発達支援管理責任者が会議に参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	3		全て連携は取れていませんが、できる限り連携していきたいと考えています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				当該児童が居ません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				当該児童が居ません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			保護者を通じて情報共有をしています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2		保護者を通じて情報共有をしています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		担当者会議等での連携は取れていますが、研修会への参加なども今後は行っていきなと思います。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	4		外出イベント通じての交流しか無く、今後は活動の機会を得たいと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	5		積極的な参加をしていきたいと考えています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			毎日の送迎時に必ず保護者の方にデイでの状況や学校での状況をお話するようにしています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	3		積極的な関わりが少ないと考えているため、今後は適切な助言ができるよう努めていきます。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約時丁寧な説明を心がけております。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			保護者に説明を行い同意を得ています。また、コピーをその都度保護者にお渡ししております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			相談時には適切に対応しております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5		年1回しか開催出来ていないため、数回の開催を検討しています
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			管理者が窓口となり、対応しております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			毎月おたよりの発行とブログ・インスタグラムにて活動内容などを配信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			同意書にサインをいただいています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			絵カードや筆談などを活用して意思の疎通を図っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		今後は地域のイベントなどにも参加していきたいと考えています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	2		スタッフへの周知はしていますが、保護者の方へお伝えができていないため、今後の課題と考えています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	6		防災センターへ学習に出かけていますが、訓練を実施できていないため、実施していく予定としています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			契約時にお伺いし、個別支援の更新時に情報を更新しております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			保護者より情報を得ております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	5		事例集の作成まで至っていないため今後実施していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			研修に参加し、伝達講習を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している				現在該当利用者さんはございませんが、必要時支援計画書に記載し、保護者の方と共有していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。